

# 脱炭素化実現へ 取り組み加速

## 2022年度中に9割を再生エネ化 スタジオ照度引き下げで省電力も

テレビ東京グループは今年3月、2024年度末までにCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにする目標を公表しました。再生可能エネルギー由来の電力に切り換えを進めており、すでに全体の9割を再生エネに切り換えました。同時に消費電力自体の削減も進めています。9月からスタジオ照明電力の削減に着手しました。ニュース番組を対象に、照度を従来の1300ルクスから1000ルクスに引き下げたうえで、テレビ画面上的の見た目は変わらないように、カメラアイリス(絞り)やモニターの輝度を調整しました。まず本社第3スタジオから生放送している「Newsモーニングサテライト」「昼サテ」「ゆうがたサテライト」「TXNニュース」でスタートしました。



照度を下げつつ視聴者がテレビ画面を見にくくならないように調整



民放キー5局とNHKのアナウンサーが集結

## 気候変動をテーマに 民放・NHKが共同制作番組

昨年の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)で産業革命前からの気温上昇を1.5°C以内に抑えることが世界共通の目標となったことを受けて、各国で脱炭素社会への動きが活発化しています。日本でもメディアが率先してアクションを起こそうと、9月から11月に会社の垣根を超えた気候温暖化防止キャンペーンを実施。その目玉として在京民放5局とNHKが共同で「1.5°Cの約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」を制作し、9月25日にNHK総合テレビで放送しました。

テレビ東京はサステナビリティ委員会メンバーの松丸友紀アナウンサーが出演し、脱炭素に向けたビジネス界の動きや、テレビ東京グループとして取り組んでいるCO<sub>2</sub>排出削減対策などを紹介しました。また温暖化防止対策の重要性を訴えるステートメントをリレー形式で読み上げるVTRに、野沢春日アナやキャラクターのナナナも参加しました。